

4/17 旗

地震国に原発いらぬ 金曜行動

原発再稼働反対、即時原発ゼロを求める
金曜日行動が15日も各地で行われました。

愛知

高浜止めろ

名古屋市中東区の関西電力東海支社前では、前日14日に関西電力高浜原発1、2号機廃炉を求めて国を相手どり名古屋地裁に提訴したことが報告され、「老朽原発廃炉を」と参加者が声をあげました。

原告の1人で市内在住の樽松(くれまつ)佐一さんがマイクを握り「老朽原発の高浜1、2号機を動かしたら何が起るかかわからないし、ひとたび事故

が起れば大変な事態に巻き込まれてしまう。今度の裁判では絶対に勝ちたい」と決意表明しました。

関電前に集まった約60人の参加者は「40年たった高浜止めろ」などとシュプレヒコールしました。

中部電力本店前(同市東区)では約25人が参加しました。

静岡 富士宮

市民が応援

静岡県富士宮市では、167回目の原発再稼働反対アクション

①富士宮が行われました。参加者は、「原発いらぬ」の黄色い横断幕、「さよなら原発」などのプラカードをもってサイレントアピールをしました。信号待ちの車内から手を振っての応援、じっと見つめて歩いていく反応などがありました。

参加した男性(53)「富士市」は「インターネットで官邸前行動をはじめ、今も全国で行われていることを最近知って参加するようになった。人の命より、大企業、資産家のための、もうけ優先の政策はおかしい。熊本地震があっても川内原発を停止しないような

長野 飯山

全国と連帯

長野県のなくそう原発飯水岳北の会は夕方、飯山駅近くの公園で43回目の集会を行いました。11人が参加しました。会は2012年の学習会をきっかけに同年9月から、毎月第3金曜日にアピール行動を続けています。

手作りのパッチワーク風の横断幕をひろげ、参加者が円になり、歌をうたって集会が始まりました。小林則夫代表が「全国の同じ思いの人々と連帯し、声をあげ続けたい」とあ

富山

廃炉を訴え

富山県の「いらんちゃ☆原発@富山」は夜、富山市のCIC前広場で183回目の金曜日行動に取り組みました。

参加者はハンドマイクで、大きな被害を出している熊本地震に触れ、鹿児島県の川内原発や佐賀県の玄海原発

いさつ、参加者が次々とスピーチしました。最初にスピーチしたのは熊本出身の男性(64)。14日に発生した熊本地震に触れ「日本中で地震が起こる可能性があることが現実になった。稼働している川内原発は早く止めたい」と話しました。

石川

シール投票

北陸電力志賀原発(石川県志賀町)の廃炉

の近くで発生していたら大事故になると述べ、原発再稼働反対と廃炉を訴えました。原発の是非を問うシール投票も呼びかけました。

を求める「どいね☆原らぬ」にシールを貼りました。

191回目の宣伝行動を12人で行いました。「原発ゼロ」「さよなら原発」と書いたのほりを立て「原発いる、いらぬ」のシール投票を呼びかけました。

オーストラリアから一時帰国しているという女性は「危険な原発はいらぬ」と述べ「いらぬ」に投票しました。

「原発？それ何」と問いかけてきた2人組の女子高生は説明を聞いて「危ないのでいらぬ」に投票しました。

女子高生の3人組は「いらぬ」にシールを貼り「私は志賀町出身です。危ない原発いりません」と語りました。

「いらぬ」にシールを貼り「私は志賀町出身です。危ない原発いりません」と語りました。